

## 課題名：担い手の育成・確保

### 【評価できる点】

- ・就農者の多様化に対応して、現状に適した個別指導を計画している点。
- ・新規就農者の集いは良い企画だと思う。
- ・課題の分析・ニーズの把握が適切である。
- ・担い手の育成・確保のため、新規就農者や若手女性農業者を対象として様々な取り組みを実施しており、担当者の熱意が感じられる。その成果として、支援した農家が農林水産省HPに優良事例農家として掲載されたことは高く評価できる。
- ・新規就農、就農希望者等への力強い支援体制が見られ、又、若手就農者がHPで優良事例を掲載され、担い手の育成も期待される。

### 【改善・強化に向けた検討事項（主な意見と対応策）】

#### 1 課題や目標設定に関すること

- ・当管内は、担い手育成支援協議会が有効に機能しているようで評価できる。今後は、産地を巻き込んだ受け入れ協議会のような枠組みについても、検討してみるかどうか。
- ・目標項目と活動実績において、「新規就農者定着率」の項目が目標未達であったのは残念である。目標設定がやや高かったものと思われることから、今後、全国や県内の定着率をもとに適正な目標値を設定し、目標達成に向けた活動を展開していただきたい。
- ・難しい課題の担い手育成だが、意欲的に取り組んでいると思う。ただ、到達目標が多すぎるのではないか。難易度が高い目標だけに、就農者の確保か、女性農業者の育成かどちらが先にすべきか検討し事業を行った方がより良い結果が得られると思う。
- ・「担い手の育成・確保」については、いつの時代、どの地域においても農政上の普遍的な課題ともなっている。一朝一夕で解決するような問題ではないが、地道な取り組みが求められている。
- ・基本的には、現在取り組んでいる方針で今後も進めてもらえれば良いと思う。引き続き関係機関と連携し担い手育成に努めて頂きたい。

#### 2 活動内容に関すること

- ・新規就農者に対して、関係機関の役割が出来ていて安心ですが、経営士や実習農家に生産から販売まで一連の世話役になってもらう里親農家制度が出来れば、就農定着率も良くなっていくのではないか。（現在もそれに近い状態ではあると思います）
- ・新規就農者の定着率が伸び悩んでいる。その対策として、特に雇用就農者については仲間づくりが大変重要と思う。普及組織としても可能な限り支援をお願いする。
- ・若手女子ネットワークの組織化に期待します。
- ・新規就農者への支援を広げてもらいたいのと、雇用就農者への対策（定着率）に何か支援を検討してほしい。
- ・女性農業者への掘りおこしを継続してほしい。
- ・新規就農者の定着支援は、JAグループでも重点事項なので、今後とも連携して対応願いたい。